



新中川生き物図鑑

魚
新中川は、淡水魚、汽水魚、海水魚、回遊魚の4種類に属する魚を見ることができるけど、ほとんどが汽水環境なんだ。だから、淡水魚はだんだん生息しにくくなっているよ。

26年度 水辺環境調査結果 4目 6科 18種

ゲンゴロウブナ コイ科
全長20～40センチ程度。最大で50センチに達する大型のフナです。群れで生活することが多く、放流によって全国に分布しています。

コイ コイ科
全長40～80センチ程度。雑食性で、水の底を好んで泳ぎます。野生型のコイは警戒心が強く飼育は難しいです。

マルタ コイ科 ★
全長30～50センチ程度。河川から内湾にかけて生息しています。早春に川を上り産卵をします。雑食性です。

キアシシギ コウノ目シギ科
全長25センチ程度。干潟、河口、海岸の砂浜などに生息しています。群れで行動することが多く、岸辺や浅い水の中で昆虫類、甲殻類などをとって食べます。

オキアビ ヲビ目オキアビ科
全長40センチ程度。普段はあまり鳴きませんが繁殖期には甲高い大きな声で鳴きます。水草の根や葉を好んで食べ昆虫類も食べます。警戒心がとても強いです。

タイサギ コウノ目シギ科
全長90センチ程度。日本にいる白サギ類の中で最も大きく、魚・カニ・ザリガニなどを採って食べます。

コサギ コウノ目シギ科
全長60センチ程度。早朝群れで餌場へ移動します。主に魚を食べ、ザリガニ、カニ、昆虫類などを食べます。足先が黄色いです。

ツバメ スズメ目ツバメ科
全長17センチ程度。夏鳥で、市街地、農地、山地の開けた場所などに生息しています。繁殖期はつかいで行動し、低空飛行で飛んでいる昆虫類をとって食べます。

ウツミ スズメ目ツバメ科
全長24センチ程度。秋に群れで遊樂し、樹木の多い公園などに生息しています。地上を跳ね歩いて、土中のミズアヒ類や幼虫、木の実などをよく食べます。

スズキ スズキ科
全長50～100センチ程度。体は細長く下あごが突き出ています。完全な肉食魚でカニ・エビ・小魚などを食べます。

スマウキゴリ ハゼ科
全長8～15センチ程度。河川では下流側の汽水域に多く生息し、中流域まで広く分布しています。水生昆虫など食べます。

マハゼ ハゼ科
全長15～20センチ程度。ハゼの中では大型で体は細長く、頭が大きいです。泥底にオスが穴を掘りそこにメスがやってきて内壁に卵を産みます。

ワカサギ キョウリウオ科
全長10～20センチ。成長のために海に出る個体や、一生を淡水で生活する個体などがあります。ヨコエビなどの動物プランクトンを食べます。

アオサギ コウノ目シギ科
全長93センチ程度。日中は群れで休息していることが多く、主に夕方から朝まで餌を食べています。くちばしを使い抉んだり突き刺したりして餌を捕まえます。

ツバメ スズメ目ツバメ科
全長17センチ程度。夏鳥で、市街地、農地、山地の開けた場所などに生息しています。繁殖期はつかいで行動し、低空飛行で飛んでいる昆虫類をとって食べます。

ウツミ スズメ目ツバメ科
全長24センチ程度。秋に群れで遊樂し、樹木の多い公園などに生息しています。地上を跳ね歩いて、土中のミズアヒ類や幼虫、木の実などをよく食べます。

スズキ スズキ科
26年度 水辺環境調査結果 18科 29種 2,548羽
群れが集まってくると鳥たちが多くいんだね。から河川敷もせまく、やってくる鳥の種類は少ないんだ。でも餌場はたくさんあるので、新中川は、荒川や江戸川と比べて小さい川だ。

チゴガニ コメツキガニ科
甲羅は7ミリ程度。六角形に近い形で、淡青褐色です。干潟の泥分の多い場所に生息しています。

イガイタマシ カワホトトギス科
河口部の汽水域などの塩分の低いところに生息しています。熱帯種なので水温低下に弱く、特に寒い年にはほとんどが死んでしまいます。

ケフサイソガニ モクスガニ科
甲羅は丸みのある四角形で暗褐色です。雄のハサミの付け根に毛の房があります。河口域の石の下などで見られるカニの一種です。

コメツキガニ コメツキガニ科
甲羅は1センチ未満程度。丸く背の面は膨らみがあり淡褐色です。干潟の砂質・砂泥底に生息しています。

ハマガリ マルスダレガイ科
最大殻長86ミリ程度。丸みのある三角形で膨らみがとても強いです。干潟から水深20メートルまでの砂泥底に生息しています。干潟の減少や環境の悪化で減少傾向にあります。

ソトオリガイ オキオガイ科
殻長52ミリ程度。細長い卵形です。白く半透明でわずかに中が透けて見えます。砂泥底に生息し、よく見られます。

チゴガニ コメツキガニ科
甲羅は7ミリ程度。六角形に近い形で、淡青褐色です。干潟の泥分の多い場所に生息しています。

イガイタマシ カワホトトギス科
河口部の汽水域などの塩分の低いところに生息しています。熱帯種なので水温低下に弱く、特に寒い年にはほとんどが死んでしまいます。

ケフサイソガニ モクスガニ科
甲羅は丸みのある四角形で暗褐色です。雄のハサミの付け根に毛の房があります。河口域の石の下などで見られるカニの一種です。

コメツキガニ コメツキガニ科
甲羅は1センチ未満程度。丸く背の面は膨らみがあり淡褐色です。干潟の砂質・砂泥底に生息しています。

ハマガリ マルスダレガイ科
最大殻長86ミリ程度。丸みのある三角形で膨らみがとても強いです。干潟から水深20メートルまでの砂泥底に生息しています。干潟の減少や環境の悪化で減少傾向にあります。

ソトオリガイ オキオガイ科
殻長52ミリ程度。細長い卵形です。白く半透明でわずかに中が透けて見えます。砂泥底に生息し、よく見られます。

江戸川生き物図鑑 2017年11月発行

編集・発行 河川基金
特定非営利活動法人えどがわエコセンター
〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1
7F-101 船堀3階
電話：03-5659-1651
監修 江戸川区環境部



もともとあった中川の洪水を防ぐために、大正5年～昭和8年にかけて改修工事を行い現在の「中川(中川放水路)」ができたんだ。この時、同時に進行していた荒川(荒川放水路)の開削工事で下流部分が分断されて、この部分が昭和41年に「旧中川」という名になったよ。

つくることになったんだ。昭和16年～昭和38年にかけて掘削工事を進めてきたのが「新中川」だよ。

つくることになったんだ。昭和16年～昭和38年にかけて掘削工事を進めてきたのが「新中川」だよ。

つくることになったんだ。昭和16年～昭和38年にかけて掘削工事を進めてきたのが「新中川」だよ。

つくることになったんだ。昭和16年～昭和38年にかけて掘削工事を進めてきたのが「新中川」だよ。

つくることになったんだ。昭和16年～昭和38年にかけて掘削工事を進めてきたのが「新中川」だよ。

つくることになったんだ。昭和16年～昭和38年にかけて掘削工事を進めてきたのが「新中川」だよ。

植物

新中川は河川敷がせまいけど、荒川や江戸川と同じくらの種類の植物を見ることができるよ。また、外国から入ってきた植物(外来種)が多く見られるんだ。



26年度 水辺環境調査結果

74科 302種



オランダハッカ シン科

ヨーロッパ原産で、各国で栽培されています。茎は断面が四角形で直立し、夏には先端に花を咲かせます。



シロネ シン科

水辺に生える多年草で、地下茎が太く白いのでこの名前になったと言われてます。花は8~10月。



コバンソウ イネ科

明治時代に観賞用に渡来し、海沿いの砂地に野生化しています。和名は小判に似た穂の形から。花は6~9月。



ヒメコバンソウ イネ科

ヨーロッパ原産で海沿いに広く帰化しています。細い枝先に4ミリほどの三角状の穂をつけます。花は5~9月。



コメツブツメクサ マメ科

明治後期に渡来したと言われ、小型で黄色の花は密集して咲きます。花は5~9月。



ナワシロイチゴ パラ科

花弁は紅紫色。果実は6月頃に赤く熟し生食できます。花は5~6月。



ノイバラ パラ科

最もよく見られる野生のバラで、枝先に多数の城鼻が集まって良い香りがします。花は5~6月。



アメリカフウロ フウロソウ科

全体に白い産毛をまとっています。茎はよく分岐し40センチほどまで成長します。花は5~6月。



ツボミオオバコ オオバコ科

北アメリカ原産で、葉はへら型をしています。全体に白い短毛が密生しています。花は5~8月。



ウラジロチチコグサ キク科

へら型の葉は、表面は光沢のある緑色で、裏面には白毛が密生し白く見えることからその名があります。



ヤセウツボ ハマウツボ科

マメ科・セリ科・キク科などの植物の根に寄生し養分を吸収し、春から初夏に出現する寄生植物です。



セッカニワゼキショウ アヤメ科

水辺環境調査では初めて確認できた種で、ニワゼキショウの白花種です。通常のニワゼキショウは花の中心が黄色と紫色ですが、黄色だけなのがこの種です。全国的にも発見されて間もないですが、識別のため「セッカニワゼキショウ」と呼ばれています。丈は3~10cm。花径は約10mm。花弁はニワゼキショウより細く、白色で中心部は黄色。花は5~6月(推定)。

セッカニワゼキショウ アヤメ科

水辺環境調査では初めて確認できた種で、ニワゼキショウの白花種です。通常のニワゼキショウは花の中心が黄色と紫色ですが、黄色だけなのがこの種です。全国的にも発見されて間もないですが、識別のため「セッカニワゼキショウ」と呼ばれています。丈は3~10cm。花径は約10mm。花弁はニワゼキショウより細く、白色で中心部は黄色。花は5~6月(推定)。

上: セッカニワゼキショウ 下: ニワゼキショウ



ヨウシュヤマゴボウ ヤマゴボウ科

北アメリカ原産で、明治の初めから栽培されています。花には花弁はなく、6~9月に咲きます。



トウネスミモチ モクセイ科

中国中南部原産で、明治初期から公園などの緑化樹として植栽されています。果実は鳥がよく好みます。



アオツツラフジ ツツラフジ科

ツル性の落葉樹で小さな黄白色の花を7~8月に咲かせ、ブドウのような果実を10~11月につけます。



ハコベ ナデシコ科

世界中どこでも見られ、春から秋まで次々と白色の小さな花を咲かせます。

★マークは絶滅危惧種(東京都)に指定されている生き物なので、みんなで守っていきましょう!

小岩 鯉のぼり祭

新中川にかかる辰巳新橋で、毎年5月初旬に鯉のぼりを揚げる「小岩鯉のぼり祭」が、開催されています。このイベントは小岩鯉のぼり会が主催していて、鯉のぼりを揚げる活動を通じて、地域の輪を広げようと続けられています。



辰巳新橋



小岩大橋

新中川 橋づくし

江戸川区を流れる区間には、17もの橋がかけられています。新中川は人工の河川なので、川を作った時に両岸に分かれる地域ができてしまいました。そのため、人々が行き来しやすいように、多くの橋がかけられています。

短い距離にこんなに橋がかかっているんだね!



鹿本橋



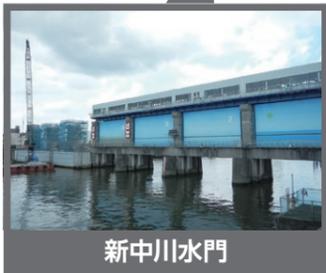
大杉橋

大杉橋は橋の名前にも入っている大きな杉の木が、デザインに取り入れられているんだ。

明和橋も門をイメージしてデザインされているよ。



明和橋



新中川水門

